



【乳 TCbHP療法について】
(ドセタキセル+カルボプラチン+パージェタ+ハーセプチン)

様 ー 日目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前			作用			めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
グラニセトン注 デキサート注	吐き気止めです	15分																													
デカドロン錠	吐き気止めです	内服																													
ドセタキセル注(75mg/m ²)	抗がん剤です	90分																													
カルボプラチン注(6mg/GFR+25)	抗がん剤です	60分																													
パージェタ(初回: 840mg/body) 以降: 420mg/body	抗がん剤です	60分(30分)																													
ハーセプチン(初回: 8mg/kg) 以降: 6mg/kg	抗がん剤です	90分(30分)																													

この週は
お休みです。

この週は
お休みです。

2回目から投与時間が
短くなる場合があります。

2回目から投与時間が
短くなる場合があります。

😊 **治療による副作用**

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚 症状	過敏症																							
	心機能低下																							
	食欲不振・吐き気																							
	口内炎																							
	手足のしびれ																							
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
検査 値	白血球減少																							
	赤血球減少(貧血)																							
	血小板減少																							
	肝機能低下																							

注意が必要な時期

痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。

動悸や息切れ、むくみが現れた場合はお知らせください

食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。

口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。

手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。

髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。

感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。

貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。

出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。

体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。

手や足のむくみ(治療回数が増えると生じることがあります。気になる症状がありましたらお知らせ下さい。)

爪の変化(爪の変色、爪の周囲が赤くなったり痛いなどの症状がありましたらお知らせ下さい。)

* 実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使い下さい



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院